

平成30年度 佐賀歯科衛生専門学校自己評価（歯科衛生士科）

学校基本方針
医療人としての豊かな人間性と社会性を涵養し、専門職としての高度な知識や技術を習得した歯科衛生士を養成する。
学校教育目標
① 専門的な医学知識を身に付け、高度化する医療技術や高齢化社会に対応できる能力を養う ② 学問的裏付けによる問題解決能力とそれを応用できる創造性を養う ③ コミュニケーションスキルやホスピタリティマナーを身に付け、豊かな人間性と社会性を育む ④ 専門職としての自覚を持ち生涯学ぶ努力をする歯科衛生士
本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画
① カリキュラムの充実を図り有能な人材を養成する ② 国家試験100%合格、就職率100%による地域医療への貢献 ③ 歯科衛生士を目指す自覚を持ち時間厳守、学則厳守し自己管理に努める ④ 充実した学生生活のために心理的ケアも含めた健康管理を支援する ⑤ 人材確保のために適切な情報の提供に努める。

評価項目の達成及び取組状況

適切：4、ほぼ適切：3、  
やや不適切、不適切：1

(1) 教育理念・目標

評価項目	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	3.8
学校における職業教育の特色は何か	3.8
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3.0
各学科の教育目標、人材育成像は、学科などに対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.8

【課題】

保護者に対する教育理念や目的などの周知が不十分であると考え。

【今後の改善策】

保護者に対しての周知を行うために、オープンキャンパスや各行事ごとに情報提供を行い、学校・学生・保護者が共通の認識を持つことができることを目指す。

(2) 学校運営

評価項目	評価
目的などに沿った運営方針が策定されているか	3.4
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.6
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3.6
人事、給与に関する規定等は整備されているか	3.2
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3.4
業界や地域社会等に関するコンプライアンス体制が整備されているか	3.4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3.4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.0

【課題】

情報システム構築等による業務の効率化について検討する必要があると考え。

【今後の改善策】

業務内容も含めた部分を検討し、推し進める。

(3) 教育活動

評価項目	評価
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.6
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.8
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3.8
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.2
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3.2
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3.6
・授業評価の実施・評価体制はあるか	3.8
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	2.6
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.8
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.8
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.6
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	3.6
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3.6
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	3.6

【課題】

概ね達成できているが、外部関係者による評価体制は今後検討していく必要がある。

【今後の改善策】

必要とされる人材を育てるため、今後も教育内容を改善しながら進める。評価体制については検討していく。

#### (4) 学修成果

評価項目	評価
・就職率の向上が図られているか	3.8
・資格取得率の向上が図られているか	3.2
・退学率の低減が図られているか	3.2
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2.6
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	2.8

##### 【課題】

国家試験合格率、評価の把握、教育活動への活用

##### 【今後の改善策】

個々の学生の学習状況の把握を行い全員合格を目指す。卒後の状況把握も含めて、卒業生・在校生からの評価も今後教育活動へ活かせるようなシステムを考える。

#### (5) 学生支援

評価項目	評価
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.8
・学生相談に関する体制は整備されているか	3.8
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.8
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.6
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	3.0
・学生の生活環境への支援は行われているか	2.8
・保護者と適切に連携しているか	2.8
・卒業生への支援体制はあるか	3.2
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3.2
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	2.8

##### 【課題】

学生の生活環境の把握。

##### 【今後の改善策】

学生が必要とする部分に関しての支援ができるよう状況の把握を行い、検討する必要があると考える。保護者との連携については、現在も連絡をとり合い進めている状況だが、他の対応・連携方法等について検討する。高校側との職業教育の連携については、今年度受け入れの希望がなかった為、実施できていない。こちらからの働きかけも検討する。

#### (6) 教育環境

評価項目	評価
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.6
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3.4
・防災に対する体制は整備されているか	3.6

##### 【課題】

概ね達成できている。

##### 【今後の改善策】

継続して行いたい。

#### (7) 学生の受け入れ募集

評価項目	評価
・学生募集活動は、適正に行われているか	3.8
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.6
・学納金は妥当なものとなっているか	3.8

##### 【課題】

学生募集活動のすべてに人員が回せていない。

##### 【今後の改善策】

募集活動の幅を増やしたことによる効果か、わずかではあるが入学生数は伸びている。継続して可能な限り募集活動を行っていきたい。

#### (8) 財務

評価項目	評価
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3.6
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.6
・財務について会計監査が適正に行われているか	4.0
・財務情報公開の体制整備はできているか	3.8

##### 【課題】

適正になされていると考える。

##### 【今後の改善策】

継続して適正に実施する。

**(9) 法令等の遵守**

評価項目	評価
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.8
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.8
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.2
・自己評価結果を公開しているか	3.4

**【課題】**

概ね達成できている。

**【今後の改善策】**

自己評価内容についての評価体制を整えていきたい。

**(10) 社会貢献・地域貢献**

評価項目	評価
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.4
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.0
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	2.6

**【課題】**

ボランティア活動への参加

**【今後の改善策】**

参加の呼びかけは必要に応じて行うが、参加に結びつかない状況である。ボランティアについての理解を深める必要があると考える。研修会などについての実習室の提供などは今年度はなかった。

**学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果**

本校の教育活動に沿ったものとなるように具体的な指標を取り入れるなど、必要に応じて評価項目の見直しを行いたい。学生が必要とする学習内容を得るため、特別講義枠などでのカリキュラム編成も検討したい。